

Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 女子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 10 日(土)

試合時間：11:40～

主審：有澤 優子

副審：藤城 真理

東海大学九州	● 5 2	12	—1st—	27	○ 6 5	日本経済大学
		12	—2nd—	15		
		14	—3rd—	14		
		14	—4th—	11		

第 1 ピリオド

日経大は#00マレムを中心にインサイドを起点としたプレイを展開する。対する東海大は、#10井上のインサイド、#8金子、#14小澤の3Pシュート等でオフェンスを組み立てていく。中盤、日経大はオフェンスリバウンドからのセカンドチャンスを確実に決め、徐々に点差を離していく。12－27、日経大リードで第1ピリオド終了。

第 2 ピリオド

開始早々、点差を縮めたい東海大は#14小澤がシュートを決める。その後も、#6山下の3Pシュートや、#8金子のミドルシュートで追い上げにかかる。しかし日経大も、インサイドアウトからの3Pシュートを確実に決め、試合の主導権を渡さない。流れを変えたい東海大は、残り7：57、タイムアウトを請求。タイムアウト明け、東海大#8金子がバスケットカウント等で得点を重ねるも、24－42の日経大リードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

序盤、日経大#00マレム、#13喜多のシュートが立て続けに決まり、残り7：25、東海大はタイムアウトを請求。タイムアウト明け、東海大は#14小澤、#77赤坂の3Pシュートを中心に、アウトサイドを起点として攻撃していく。対する日経大は、#00マレムが着実にシュートを決め得点を重ねていく。残り3：15、東海大#22江口に代わり#10井上が交代で入り、すぐさまバスケットカウントを決める。流れを掴みかけた東海大だったが、差は縮まらず、38－54と日経大がリードし、第3ピリオド終了。

第 4 ピリオド

東海大#10井上のポストプレイからの得点で、最終ピリオドスタート。東海大はオフェンスリバウンドに積極的に飛び込み、#10井上を中心に攻撃を組み立てる。日経大は#5後藤の3Pシュートや、#75日野の合わせのプレイで東海大を突き放す。終盤、日経大#00マレムがこの日37点目となるシュートを決め、勝負あり。52－65で日経大が3勝目をあげた。